

警城時報

日八十
印刷所 加納活版所
發行所 警城時報社
一部金貳圓 一月金貳拾圓
廣告料 一行十二字 日五字
日刊(日曜祝祭日) 日五字

上海大激戦に於ける 皇軍の奮戦ぶり

兩角部隊の軍醫 木村守江氏の通信

戦争のことはなるべく書く来たのがこの〇〇〇〇で、
ことを止めやうと思つてゐた、こんな考を持つてゐた
たが昨日家内が十月廿六日の午後六時、山口隊長
東京日日新聞を送つてくれ、始め多くの兵隊達も同感で
これを見たら色々な僕等のある。こんな考へを持つて
關係したことが書いてある。この〇〇〇〇の元支那の學校
特に三面にある「觀測班」のらしい建物に來た一番に目
苦心「上海戦線」〇〇〇〇に寫つたものは支那人の落
寫眞は吾が兩角部隊山口憲隊の活躍した所である、
この寫眞の家屋は支那の學校
校らしく平第三小學校位の
大きな建物であるが其の建
築に彫刻に相當の手の入つ
てゐるものと見える大きな
ものである、この寫眞の階
下が廿七日頃から兩角部隊
本部となつたものであるが
山口憲隊本部はこれより十
五日も前からこの建物の一
室を本部と定め敵陣の攻撃
を始めたのであつた、山口
憲隊がこの〇〇〇〇に來たの
は十月〇二日未明であつた
〇〇〇〇に十月三日敵前上
陸をしたが二三名の傷者に
一名の死者を出しただけで
し、幾回かの空襲を受けた
が自分の所に空襲を受けた
て来るやうに思へてゐる
揚つては見るが一寸も故障
がなかつたので戦争はこの
位が關の山と思つてやつて

藤、伊勢、寶田の各隊を戦
場へ送つて普通の散兵戦で
始まつたが敵の塹壕より
猛射により前進に中止して
對壕作業を始めた、勿論積
田の中に掘つた壕であるか
ら交通壕にしても塹壕にし
ても腰きり水が湧く、彈藥
運搬や食車運搬が一々戦場
に行つて來るものなら腰き
り泥ねれである、まして連
日連夜この塹壕の中に居る
兵隊達の苦勞は到底底なく
しては見られない、斯くし
て塹壕戦に移つてからは漸
次全戦線の前線となる、日
本軍獨得の突撃を敢行、幾
多の犠牲に拂ひつゝも前進
敵の陣地に近づいた、前進
即ち〇〇〇〇の山口憲隊本部
と敵陣地とは約七百米位離
れた所である、その爲には積
二本のクリークが横を
つてゐる、それに敵の陣地
は四五周の高臺になつてゐ
る、吾が軍はこれをめがけ
て攻撃したのである、戦線
が進行につれて山口憲隊の
應援として來たのが泉村出
身の志賀中尉の引率する志
賀隊、福村隊、高久隊、鈴
木隊などが來た、斯くして
一刻と前進してゐるが、

ある原板を用ひた天蓋の左側に十月十二日に開設し
上に土を五六尺も盛りそのたのであるが、僅か廿日余
上には芝原を生やしてゐるのの中に殆ど半年分位の戦死
と言ふ状態である、上からは一傷者を取扱つた、晝も夜も
しきや見られぬのであるが、この高臺と食車の最中も本當に徹夜を
この様な壕が八角十文字に日本軍が傷けられた、志賀
走つてゐる所に極めて中尉と戦場に出る前に廿
小さい銃眼があり、茲から三日の夕刻會つたので御體
輕機重機で雨あられの如くを大切に握りしめて
日本軍來たと思つたら打出す分れたのだつたに次の朝に
のであるからと見てもたまたまなつたら今朝の突撃でや
お蔭で小生等は〇〇〇〇に即
ち日新聞の寫眞の向つて

防空演習三日目 二日に亘る空襲警報 防火、防毒班の活躍

公會堂敷地と第三校庭で

防空演習三日目の十八日は警報を傳達し午後一時
正午平市役所の本部に空襲警報を傳達し午後一時
警報が本部で直ちに於て防火並に交通整理班の
防護團各分團並に關係各方演習に移る。同地に模範家
面に警報を傳達空襲に對す屋を建設し擬砲音で爆彈投
準備を整ふ。午後零時三十分下を知らせ發煙筒を使用し
十分平際のアレンによつて家を焼く防火班員は消火、交
て空襲警報が発令された、火器具を携行して消火、交人
本部では所定演習分團に對通整理班は繩を以て交通整
つてゐる。

理に當り好成績に終了しひの亦好成绩に終了。四年來警城炭礦坑に働いて
た。午後二時三十分空襲警報時半空襲警報解除、晝間の
報解除され午後三時から四演習を終え夜間の警戒管制
時半まで第三校庭に於て防の演習に移つた。各分團長
毒並に救護班の演習に移る警報班長並に各監視係は警
襲と同様擬砲音に上つて壕官と共に市内を一般並に工
彈投下發煙筒で毒瓦斯を發揚を視察した。

感心な納豆屋さん 五十圓を献金

渡邊兵事主任感激

内郷村御厩字上宿三五阿部
クニ(六六)さんは昨年春か
ら納豆製造の傍ら平まで配
達して蓄へた金が五十圓に
なつたが昨今の時局に感じ
三十圓は十八日平署を通じ
皇軍慰問金、二十圓は同村
御厩小學校基本金に寄附し
たので平署渡邊兵事主任が
その奇特な行爲に感激して
クニさんには早くから
子供を養育しつゝ阿部納豆
平署に寄託した。

平小鐵道問題について 平市民諸君に告ぐ

蓮野 崎 龍 輔 藏

次に星代議士の演説中に
最も不愉快に感じたこと
は東海岸の吾々國民は一
神武天皇の系統を受け
居る國民である、北海岸
の國民は支那、朝鮮の血
統を受けて居る國民が多
い。諸君は此精神を以て
今回の平小鐵道問題に當
たり平市會の白紙還元を
覆へさなければならぬと

四年來警城炭礦坑に働いて
のわたが今年七月同礦をやめ
小串鎮山の坑夫となつたが
今度の山津波で遭難したら
の山津波で遭難したら
の友人の同村姪子六
六鹽澤誠司さんが心配して
電報手紙で再三問ひ合せた
が何の返事もなし、謙次さ
んの長女たき子さん十六は
昨年秋から栃木縣足利市新
間絹織工場の女工として働
いてゐたが最近やめて前記
鹽澤方に厄介になり兩親兄
弟の身を案じ乍ら泣き暮し
てゐる。

赤井聯合の農産物評會は
二十七日、八日の兩日小川
小學校に開き青山技師が出
張審査する。

親兄弟の
搜索願
内郷村富山謙次さんは數
て如何なる感起すもの
であらうか。
更に星氏は吾々を論難致
されて居る、曰く他郷に
生れて平市會議長になつ
て居る人もある、何所の
縣で生れたか知らぬが副
議長になつて居る人もあ
る。市民は平市を發見せな
ればならぬと云ふたのだ
れ、成程吾々兩人は平市
の生れてはなし、然し平
市はソナナ偏狭な考へ
を以て進んで平市が發展
膨脹しようか、何所の都
會が斯の如き精神を以て
發達して居る都市がある

か、鎖國時代の即ち舊幕
時代には婿養子は一段格
を落されて差別待遇を受
けた。そのふたが、現今は滿
二ヶ年其土地に住居すれ
ば公民権を獲得せられ市
町村住民の人格を備へる
のである。其土地に住居
し義務を負担し更に墳墓
の地を定め其土地の公私
に不拘努力する者は本籍
を發見せしめてこそ都會
と謂わす農漁山村と謂わ
す發達するではないか。
(つづく)

發賣元 魁文堂
よく効く神效水
めくすり 一瓶二〇錢

御禮

今朝火災の際は早速御馳付消火に御盡力被成下御蔭様にて鎮火仕り有難く御禮申上候一々參上御禮可申述筈の處混雜の折柄御尊名御伺洩も有之可く乍略儀紙上を以て御禮申上候
昭和十二年十一月十七日 敬具

搔掻小路

日進堂製材部

金田久馬

食事 喫茶 酒場

町田・平 (二五三電)

イワキサロン

男給の店

干やなぎの御注文は
いか切込

ぜい 仙魚店へ!!!

御祝儀用 鯉節

特に体裁優美格安に勉強仕ります
鯉節 辛 もありませす

丸仙魚店

平市土橋(電話六六二番)

外科花柳病専門

入院随意

平市六丁目

木村外科醫院

電話三〇九番

内臓外科
エツキス光線

院長 安齋徹

産婦人科

醫學士 黒澤廣

平市田町

安齋醫院

電話四七五番

耳鼻咽喉科

大和田醫院

平市南町(電話一七〇番)

入院自炊の便あり

産科 婦人科 花柳病科

井坂醫院

平市田町(電話五五九番)

外科一般レントゲン科
内臓外科 泌尿器科

北川外科

平市新川町二七

醫學博士 北川芳夫
技師 三浦常保
電話四六四番

◎晝夜診療◎
◎血液検査毎日◎
インデモ
入院出来マス

かまのぼろ造 折詰造

お惣菜用さつま揚・吉原揚

平町一丁目

電話一四一番

耳鼻咽喉科専門

鈴木醫院

醫學士 鈴木正男

(入院の必需に應ず)
自炊の便あり
平市田町藤田女學校前
(電話五八番)

三井タクシ

平市二丁目
電話六八五番

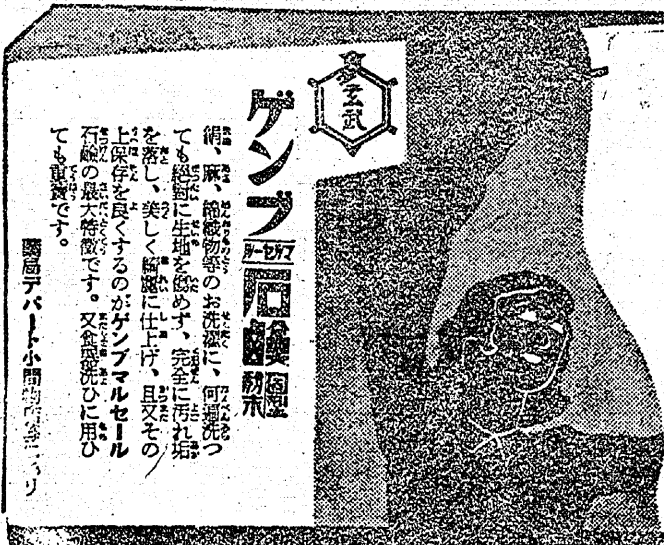
モゲン

特許新洗劑
漬けて十分間
揉まずに落ちる

モゲンは石鹸とは原料から異なり、脂肪酸アルカリとコロイド新製剤から製造されたもので、水に溶いても中性で手肌を傷つて生地を縮める事なく、且又人肌やステール製剤も短時間で洗すに、白物は黄ばみせず、美しく洗へ、其上湯を流しが楽で、どんな生地でも理想的に洗へる新洗劑です。

定価 二〇〇
三五〇

社合式株業製業工一第 總本館石ルセルマアソケ



ゲンパ石鹸
胃腸、腸胃等のお洗いに、何れ洗つても、腸胃に生肌を促す、完全に汚れを洗い、美しく腸胃に仕上げ、且又その上腸胃を良くするのがゲンパ石鹸の最大の長所です。又食器洗ひに用ひても宜しいです。

關東平本小門内西三丁目

三百年の歴史を有する
家傳靈藥
相馬ハンサキ
消食散
一名かけの藥

代理店 丸龜商店
平市大町
電話一三三番

三五電・二平 店品洋野中 店約特